

AI時代に即応した高大連携教育 鹿児島での現状を踏まえて

日時：令和元年7月27日(土)13:00～17:40

場所：鹿児島大学 稲盛会館 キミ&ケサメモリアルホール

AI時代の到来を控え、今後の教育で重要視されている主体性(換言すると、一生学び続けて生きる力)を如何に育てるかについて、文部科学省の方針や企業戦略等の状況を踏まえた上で、生徒・学生に対して一貫的な教育を行うために鹿児島県内の高校や大学で今後何を実践すべきかを考える。

開会挨拶(13:00～13:10)

武隈 晃 鹿児島大学教育担当理事

第1部：企業戦略の方向性(13:10～14:40)

(1)「デザイン思考」及び「知財・標準戦略」とその教育の必要性

杉浦 博明 様 (三菱電機株式会社)

(2) 変化を許容する風土と、自主性発揮の仕組みが実現する働き方

福留 進一 様 (株式会社現場サポート)

第2部：将来を見据えた教育施策の変革(14:40～15:40)

(3)「持続可能な社会の創り手」の育成を目指して

～高大接続改革、学習指導要領、SDGs～

大杉 住子 様 (文部科学省)

休憩(15:40～15:50)

第3部：鹿児島県内の教育の現状と課題(15:50～17:20)

(4) 鹿児島県SSH指定15年目の成果・課題・展望

—主体性とコンソーシアムをキーワードとして—

山崎 巧 様 (鹿児島県立錦江湾高等学校)

(5) 甲南高等学校におけるSGHの実践経験と課題

堀切 友弥 様 (鹿児島県立甲南高等学校)

(6) 鹿児島大学工学部で何をどう教えるべきか

二井 晋 教授 (鹿児島大学)

第4部：総括質疑応答(17:20～17:30)

閉会挨拶(17:30～17:40)

本間 俊雄 鹿児島大学大学院理工学研究科長
司会

大塚 作一 鹿児島大学理工学研究科教授

(兼)高大接続教育地域問題研究理工学センター長

< 問合せ先 >

鹿児島大学 理工学研究科等研究科・工学系総務課総務係

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21-40

TEL:099-285-8215 FAX:099-285-8225

E-mail: e-soumu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

※参加ご希望の方は、**7月18日(木)**までに、電話、FAXまたはメールでご連絡ください。

(申込みの際にいただいた個人情報には本セミナーにのみ使用いたします。)

